

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

1 インフルエンザ

定点当たり22.77人の報告があり、減少傾向ですが多い状況です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が20件報告されました。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)  
第52週 A型:119人、B型:9人

2 感染性胃腸炎

定点当たり3.82人の報告がありました。(次ページ参照)

3 梅毒

3件の報告があり、今年の累計は149件となりました。過去最多の報告があった2022年以降は減少傾向ですが、2021年までと比べて多い状況が続いています。

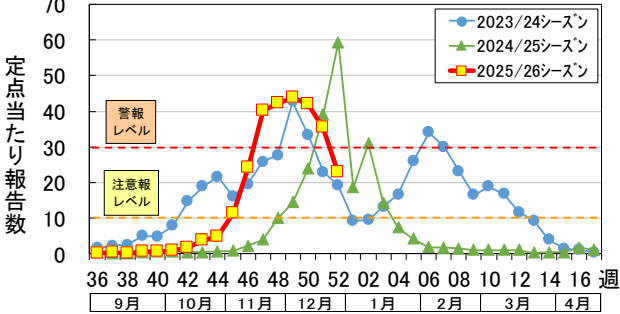
梅毒検査(無料・匿名、要予約)

広島市の各区保健センターでは、HIV(エイズ)検査とあわせて、梅毒の検査を実施しています。

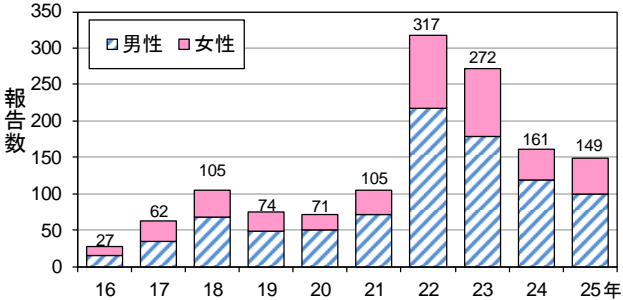
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1022986.html>



インフルエンザの流行状況(広島市)



梅毒の年間報告数の推移(広島市)



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2661	76.03		→	小児科	突発性発しん	5	0.23	0.15	
	インフルエンザ	797	22.77	15.81	→		ヘルパンギーナ	1	0.05	0.22	
	新型コロナ(COVID-19)	16	0.46		→		流行性耳下腺炎	-	-	0.02	
小児科	RSウイルス感染症	19	0.86	0.09	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	7	0.32	1.12			流行性角結膜炎	8	1.00	0.68	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	2.82	1.26	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	84	3.82	5.34	→		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	5	0.23	0.16			マイコプラズマ肺炎	12	2.00	1.13	
	手足口病	6	0.27	0.57			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	2	0.09	0.05			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	119	10歳未満・1人、80歳代・2人
4	A型肝炎	1	6	80歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	29	10歳未満
5	梅毒	3	149	30歳代・2人、50歳代・1人
5	百日咳	2	1034	50歳代・2人

